



平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社
コード番号 4829 URL <http://www.nihon-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝

TEL 03-5774-5730

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	3,004	53.2	272	37.5	285	34.3	156	23.4
24年5月期第3四半期	1,960	11.4	198	2.2	212	0.7	127	17.7

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 632百万円 (376.1%) 24年5月期第3四半期 132百万円 (△7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	416.27	416.23
24年5月期第3四半期	337.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年5月期第3四半期	4,732	9,679.29	3,777	7,643.29	77.1	9,679.29
24年5月期	3,577	8,132.79	3,180	7,000.00	85.7	8,132.79

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 3,649百万円 24年5月期 3,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	130.00	130.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	180.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年3月29日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,170	49.4	390	28.2	400	25.8	350	105.8	928.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期3Q	377,000 株	24年5月期	377,000 株
② 期末自己株式数	25年5月期3Q	— 株	24年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期3Q	377,000 株	24年5月期3Q	377,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォン（高性能携帯電話）の普及が本格化してきており、様々なアプリをはじめとした新たなサービスが創造される中、スマートフォン関連の市場は伸展しております。特に、App StoreやGoogle Play等の専用マーケットを介したダウンロード型の「ネイティブアプリ」が拡大する一方、ダウンロード・インストールの必要がなく、ブラウザ上で表示・動作する「Webアプリ」も、今後の発展が期待されております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は30億4百万円（前年同四半期比53.2%増）、営業利益は2億72百万円（同37.5%増）、経常利益は2億85百万円（同34.3%増）、四半期純利益は1億56百万円（同23.4%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社フォー・クオリアを連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、株式会社スタイルフィッシュは、株式売却に伴う議決権比率が低下したため、持分法適用の範囲から除外しております。

各セグメントの事業は、次のとおりです。

<コンテンツサービス事業>

コンテンツサービス事業におきましては、フィーチャーフォン（従来型携帯電話）からスマートフォンへの移行が進む中、配信するコンテンツを自社制作することで「提供コンテンツの権利を自社で保有」する当社独自のビジネスモデルをベースに、提供するサイトやアプリの充実化を進めつつ、自社広告媒体を有効に活用してまいりました。

移動体通信事業者の公式サイトについては、フィーチャーフォン向け公式サイト会員数の減少をスマートフォン向け公式サイト会員の新規獲得で補うとともに、auスマートパスやYahoo!プレミアム等の移動体通信事業者の施策に合わせたコンテンツ対応を推し進め、利用促進を図ってまいりました。

また、携帯電話販売会社と共同展開する有料コンテンツについては、新規会員の獲得とともに、新たなコンテンツを開発・拡充し、会員数を増進させてまいりました。

海外では、中国において、事業ドメインを電子コミックの配信サービスと位置付け、中国の作家や出版業界と連携しながら、人気小説を漫画化し、携帯電話向け電子コミックとして配信するビジネスモデルをベースに、積極的に進めてまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は15億50百万円、セグメント利益は4億22百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業におきましては、広告ビジネス「店頭アフィリエイト」について、スマートフォンの普及に合わせ、販売力の強化（携帯電話販売会社との協業）、コンテンツの仕入れ力の向上（良質なクライアント会社の獲得）、販売コンテンツの継続利用率の向上（各店舗での販売指導）に努め、獲得件数を拡大させてまいりました。

企業向けコンテンツの企画、構築、運用、デバッグ、サーバ保守管理等のサービス提供については、当社の連結子会社である株式会社フォー・クオリアとの連携を強化し、スマートフォン及びタブレット（多機能携帯端末）を活用したニーズの拡大に合わせて、開発スピード・提供量・品質を充実させてまいりました。

また、昨年より開始している企業向けコスト削減ソリューション「リバースオークション」については、新年度からの契約締結に向けて、営業を強化してまいりました。

海外では、中国において、中国移动体通信事業者である中国電信股份有限公司上海分公司と「携帯電話等の販売及び代理店業務等」の業務提携を行い、携帯電話販売店のオープンに向けた準備を進めてまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は14億53百万円、セグメント利益は2億43百万円となりました。

※店頭アフィリエイト・・・携帯電話販売会社との協業による成功報酬型コンテンツ販売（リアルアフィリエイト）

※リバースオークション・・・バイヤー（買い手）が調達したい品目の購入条件などを提示し、これに対してサプライヤー（売り手）が価格を提示し、その中で最低価格を入札したサプライヤーを選ぶ取引方法

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して11億55百万円増加し47億32百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金、売掛金の増加等により前連結会計年度末と比較して5億99百万円増加し31億5百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の増加等により前連結会計年度末と比較して5億56百万円増加し16億26百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金、前受金及び繰延税金負債の増加等により前連結会計年度末と比較して、5億57百万円増加し9億54百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当等がありましたが、四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末と比較して5億97百万円増加し37億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の連結業績予想につきましては、平成25年3月21日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社フォー・クオリアを連結の範囲に含めております。

また、従来3月31日を決算日としている同社について、決算日を5月31日に変更しております。なお、決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は平成24年4月1日から平成25年2月28日までの11ヶ月間を連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,454	2,469,628
受取手形及び売掛金	458,497	530,380
商品	1,877	9,014
仕掛品	5,141	36,580
貯蔵品	215	250
その他	65,563	60,139
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	2,506,550	3,105,793
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,419	24,095
土地	12,400	12,400
その他（純額）	32,870	26,845
有形固定資産合計	70,690	63,341
無形固定資産		
のれん	145,203	121,416
ソフトウェア	174,527	196,546
その他	166	111
無形固定資産合計	319,898	318,074
投資その他の資産		
投資有価証券	260,854	937,346
長期預金	300,000	200,000
その他	139,910	127,428
貸倒引当金	△20,798	△19,598
投資その他の資産合計	679,966	1,245,176
固定資産合計	1,070,555	1,626,592
資産合計	3,577,105	4,732,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,322	246,010
未払法人税等	45,343	94,335
賞与引当金	12,424	15,699
役員賞与引当金	8,800	24,642
その他	148,156	276,572
流動負債合計	361,047	657,260
固定負債		
退職給付引当金	11,294	18,005
その他	24,304	279,249
固定負債合計	35,599	297,254
負債合計	396,646	954,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,990	595,990
資本剰余金	473,942	473,942
利益剰余金	1,938,214	2,062,472
株主資本合計	3,008,148	3,132,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,946	507,838
為替換算調整勘定	2,969	8,847
その他の包括利益累計額合計	57,915	516,686
新株予約権	—	137
少数株主持分	114,395	128,642
純資産合計	3,180,458	3,777,871
負債純資産合計	3,577,105	4,732,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	1,960,593	3,004,206
売上原価	844,838	1,623,594
売上総利益	1,115,755	1,380,611
販売費及び一般管理費	917,433	1,107,883
営業利益	198,321	272,728
営業外収益		
受取利息	5,334	3,840
受取配当金	1,858	1,126
受取賃貸料	1,439	1,170
持分法による投資利益	2,606	—
為替差益	1,042	8,235
その他	2,481	2,641
営業外収益合計	14,762	17,014
営業外費用		
支払利息	22	162
管理手数料	311	311
持分法による投資損失	—	3,089
その他	8	396
営業外費用合計	342	3,959
経常利益	212,742	285,783
特別利益		
新株予約権戻入益	2,134	—
固定資産売却益	—	2,189
投資有価証券売却益	—	36,641
投資有価証券有償減資払戻差益	4,400	—
段階取得に係る差益	16,799	—
特別利益合計	23,334	38,830
特別損失		
固定資産除却損	1,029	232
減損損失	—	1,435
投資有価証券売却損	—	2,489
災害義援金	108	59
特別損失合計	1,138	4,217
税金等調整前四半期純利益	234,938	320,396
法人税、住民税及び事業税	89,092	141,322
法人税等調整額	6,713	5,587
法人税等合計	95,805	146,910
少数株主損益調整前四半期純利益	139,132	173,485
少数株主利益	11,957	16,550
四半期純利益	127,175	156,935

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	139,132	173,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,530	452,892
為替換算調整勘定	2,191	5,878
その他の包括利益合計	△6,339	458,771
四半期包括利益	132,793	632,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,836	615,706
少数株主に係る四半期包括利益	11,957	16,550

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,065,786	894,806	1,960,593	—	1,960,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23,907	23,907	△23,907	—
計	1,065,786	918,714	1,984,501	△23,907	1,960,593
セグメント利益	351,922	229,051	580,974	△382,652	198,321

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△382,652千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間より、交通情報サービス株式会社の株式を追加取得し、同社を子会社化したため、連結の範囲に含めております。これによる当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は108,953千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,550,761	1,453,444	3,004,206	—	3,004,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	42,722	42,722	△42,722	—
計	1,550,761	1,496,167	3,046,929	△42,722	3,004,206
セグメント利益	422,529	243,901	666,430	△393,702	272,728

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△393,702千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(投資有価証券の売却)

当社は、保有資産の効率化を図るため、保有する投資有価証券の一部を平成25年3月8日及び平成25年3月11日に売却いたしました。

これに伴い、平成25年5月期連結会計年度において、上記に係る投資有価証券売却益244,012千円を特別利益に計上する予定であります。